

2020年1月9日

※本プレスリリースは共同発表のため、重複する場合がございます。ご容赦ください。

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社  
京セラ株式会社

## 災害現場など電波が届かないエリアでも 携帯電話通信を可能にする“移動通信中継局”を共同開発

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、社長:熊田 貴之、以下ブルーイノベーション)と、京セラ株式会社(本社:京都市伏見区、社長:谷本 秀夫、以下京セラ)は、ドローン分野での新たなソリューションとして、ドローンを利用した“移動通信中継局”を共同開発することに合意しましたので、お知らせいたします。

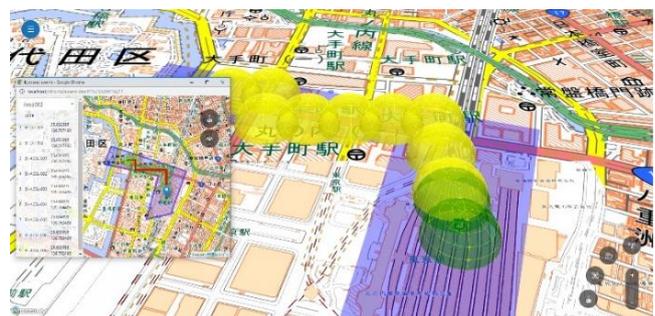
“移動通信中継局”は、災害現場などの携帯電話の電波が届かないエリアにおいて、通信中継局機能を持つ複数のドローンを飛行させることで、平常時と同じように携帯電話での通信を可能にします。ドローン内の通信ユニットが通信エリアを判断し、自動で通信網を形成することが可能です。

ブルーイノベーションが提供する、複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し統合管理を可能にする Blue Earth Platform(BEP)等のシステム・プラットフォーム技術と、京セラが通信機器事業で培ってきた無線通信技術を融合させ、共同開発してまいります。

なお、本開発品は、1月7日~10日の間、米国ラスベガスにて開催される CES2020 のブルーイノベーションブースにて参考展示しております。今後、LTE 網や 5G 網での通信環境の構築実証を重ね、法令改正状況にあわせ、2021 年度中の商用化を目指し、開発を進めてまいります。



移動通信中継局搭載ドローン 参考展示品



移動通信中継局 シミュレーター操作イメージ  
※国土地理院地図を加工して作成

### ■開発における各社の役割

ブルーイノベーション	移動通信中継局システム中のバックエンドシステム(サーバー対応)、フロントエンドシステム(画面インターフェース)の構築
京セラ	ドローン中継局に搭載する LTE 網、5G 網の構築ができるセルラー通信ユニットの開発

## ■Blue Earth Platform(BEP)とは

ブルーイノベーションが開発する、ドローンの属性情報、各種センサーから得られるデータを一元的に統合管理し、AI、ブロックチェーンを活用した最適業務が遂行できる基盤プラットフォームです。BEPの詳細はホームページをご覧ください。<https://www.blue-i.co.jp/advantage/bep/>

## ■京セラ株式会社 概要

代表者：代表取締役社長 谷本 秀夫

設立：1959年4月1日

URL：<https://www.kyocera.co.jp/>

事業内容：ファインセラミックス、半導体部品、電子部品、情報機器、通信機器、太陽電池、医療関連製品などの開発、製造、販売。

## ■ブルーイノベーション株式会社 概要

代表者：代表取締役社長 熊田 貴之

設立：1999年6月10日

URL：<https://www.blue-i.co.jp/>

事業内容：ドローンパイロット支援事業、法人向けサービス事業、公共向けサービス事業など。複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォームである BEP を基軸に、点検、警備、物流、教育・安全、エンターテインメントの5つの分野でサービス展開。

### 【本リリースに関する問い合わせ先】

ブルーイノベーション株式会社 広報担当 電話：03-6801-8781 E-mail：media@blue-i.co.jp

京セラ株式会社 広報室 東京広報課 電話：03-6364-5503